



# にじいろ 虹色

平成29年3月24日

秋田県生涯学習センター  
〒010-0955 秋田市山王中島町1-1  
TEL: 018-865-1171  
FAX: 018-824-1799  
E-mail: sgscen002@mail2.pref.akita.jp  
編集: 社会教育アドバイザー

## 秋田県自作視聴覚教材交流発表会



2月17日(金)に県生涯学習センター視聴覚室を会場に、「秋田県自作視聴覚教材交流発表会」が行われました。視聴覚教育の充実のために毎年開催され、今回で66回を数える伝統ある交流発表会です。

応募作品については、そのねらいや構成、技術面等を観点として審査が行われました。いずれも、作者の思いが伝わるすばらしい作品でした。今年は、10作品中4作品が小学生の出品で、いずれの作品も小学生らしい発想や考えがにじみ出る内容でした。

石黒修審査委員からは、「広い年代、幅広い分野から出品された。製作者の情熱が十分に伝わってきたし、特に小学生4人の頑張りは素晴らしかった」と講評がありました。

出品されたDVD作品は、当センターで視聴・貸出ができます。ご利用ください。

### <発表作品:発表順>

☆;最優秀賞 ○;優秀賞

|         | 作 品 名            | 作 製 者           | 内 容                                              | メディア     |
|---------|------------------|-----------------|--------------------------------------------------|----------|
| 1<br>○  | 行列のできるレストランのできごと | 佐々木 昭元<br>鈴木 三郎 | スズメのえさ台に来る鳥たちの様子から、疑問や課題を発見させる小学生向けの問題発見学習教材でした。 | DVD      |
| 2<br>○  | つくし              | 福嶋 信治           | つくしから出る緑の胞子は春の風にのって飛んでいきます。その胞子を拡大して観察しました。      | DVD      |
| 3<br>○  | 小野小町             | 中川 文子           | 小野小町の紙芝居をパソコンに入力して、アニメーションを入れながら朗読しました。          | パワーポイント  |
| 4<br>○  | 秋田の人口減少を防ぐために    | 朝倉小学校<br>5年佐藤遥斗 | 秋田の大きな課題である人口減少を防ぐために、自分の考えを入れながら発表しました。         | パワーポイント  |
| 5<br>☆  | 十文字和紙の秘密にせまる     | 朝倉小学校<br>5年藤谷空翔 | 地域の伝統である十文字和紙の歴史や材料、作り方を分かりやすく映像化しました。           | ムービーメーカー |
| 6<br>○  | 感染症を予防するには       | 朝倉小学校<br>5年山初心海 | 感染症予防に対する意識を高め、一人ひとりが予防・実践できる方法を紹介しました。          | ムービーメーカー |
| 7<br>○  | 自動車そーなんだ新聞       | 雄勝小学校<br>4年藤本颯来 | お父さんの働く自動車会社を見学し、途中クイズを入れながら、車が走る仕組みを説明しました。     | パワーポイント  |
| 8<br>○  | 大曲の花火と科学         | 秋田大学2年<br>佐藤 洋光 | 花火の発色の仕組みを科学的に説明した、中学校2年生対象の理科の授業に使用する教材でした。     | パワーポイント  |
| 9<br>☆  | 鴻屋の百万遍念仏講        | 小野 まさる          | 羽後町の山間部にある小さな集落鴻屋地区に残る貴重な百万遍念仏を映像化しました。          | DVD      |
| 10<br>○ | 黒ニンニクを作り食べてみませんか | 菅野 辰男           | 最近、健康食材として注目されるようになった黒ニンニクを実際に作り、その効果等を検証しました。   | DVD      |

※「十文字和紙の秘密にせまる」「鴻屋の百万遍念仏講」の2作品は、全国自作視聴覚教材コンクールに推薦されました。



視聴覚室がいっぱいの参加者



最優秀賞 小野まさるさん



最優秀賞 藤谷空翔君

# 行動人

《学んだことを生かして行動する人》

秋田には、学んだことを生かし、地域や周囲の人々を元気にしている人たちが大勢います。



神長侃さん

由利本荘市にある岩城少年自然の家で、自然物工作の指導を続けられている**神長侃(かみながつよし)さん**にお話を伺いました。

神長さんは長年教員として勤めていました。退職後、岩城少年自然の家の指導専門員として3年間在職し、引き続きボランティアとして活動されています。自然物工作は、少年自然の家のプログラムのなかでも、子どもからお年寄りまで誰でも手軽に楽しめる定番の活動として人気があります。工作の中身を充実させるため、十数年間にわたって工夫を重ね、木の実や貝殻の工作と焼き板・プラ板工作などを組み合



わせる方法も考えました。

「子どもたちには、工作を通じて、自然と調和して生きることの大切さや自然に対する畏敬の念を学んでほしいと考えています。豊かな想像力や自然に親しむ心を育てるために、役に立つことができれば幸いです」と話されていました。

## 幸齢社会の楽しみ

### 四文字熟語（心にしみる四字熟語）－円満字二郎氏－

講師 コラムニスト 小松寿一 氏

自主企画グループ「秋田の自然を学ぶ会」の主催による「幸齢社会の楽しみ」が県生涯学習センター視聴覚室で行われました。講師の小松氏は円満字二郎氏の著書を紹介しながら、四字熟語をとおして日本の代表的な文学作品を分析されました。小松氏のお話の中から、一つの作品を紹介します。

「人面獣心」と天才の対決－芥川龍之介『地獄変』

絵仏師の良秀は堀川の大殿から地獄変の屏風を依頼された。描き進めていると炎に包まれた牛車の中でもだえ苦しむ貴婦人の姿がどうしても描けない。良秀は大殿に自分の目の前で牛車に火をかけてほしいと頼んだ。数日後、良秀の依頼通り、目の前で牛車に火がかけられ、紅蓮の炎の中をよく見ると、自分の愛する娘がもだえ苦しんでおり、さすがの良秀も正気を失った。その時、突然かつて娘に命を助けられた一匹の猿が火の中に飛び込み、娘と運命を共にした。これまでの様子をじっと見ていた良秀はやがて恍惚の表情になり、ただ美しい炎の光を見つめ、限りなく心を悦ばせていた。

良秀はついに地獄変の絵を完成させたが、それは傑作であり、見る者すべてを感動させるものであった。

しかし、良秀は屏風が完成した次の夜に、首をつって自殺してしまった。「猿秀」とのあだ名のあった『獣面獣心』の天才芸術家良秀は、娘と運命を共にした猿と同じように、『獣面人心』となり、娘の後を追ったのであった。

